

今年一年間ありがとうございました

卷之二

山
ひ
こ

卷之三

「只、ただ、感謝」

家族 森川 純行

小説採譜

(敬稱略順不同)



ヨリ川内町の三恵が
一ムを紹介された時は、本当に世の中の光
を見たようで、只、ただ感謝したのを覚え
ております。

それは、開所時であり、一期生として入所させていただき、早くも十年となり長いようで短かいような歳月が過ぎました。

めぐみ句会

出身地 新居浜市
生年月日 昭和24年12月13日

- 7 -

朝市や秋刀魚の背ナの海の彩
腕白の棒に飛ぶ火や彼岸花
杉垣を刈りて迎へる秋祭
山寺へ通ずる道やさるすべり
果てしなき空の深さや鳥渡る
スカートをはいて夏やせ知る娘
二人行く道のはるかや大夕焼
松手入れして白壁に映えにけり
いつなく早き日覚めや熟柿もぐ
鯉が口開けて寄りけりこぼれ萩

千恵
期間が短
に寮母さ
れました
のピチ
です。な
りまし
よろしく
行きたい
だよ。